

基地対策特別委員会 行政視察報告

令和元年12月16日

狭山市議会議長

加賀谷 勉 様

基地対策特別委員会

委員長 齋藤 誠

当委員会は、下記のとおり、茨城県小美玉市の視察をして参りましたので、その概要について報告します。

記

日 程 令和元年11月14日(木)

視察事項 1 周辺市町との合同での陳情活動
2 基地への陳情活動
3 基地との交流活動

参加者 齋藤 誠 ・ 千葉 良秋 ・ 福田 正
土方 隆司 ・ 笹本 英輔 ・ 綿貫 伸子
猪股 嘉直 ・ 中村 正義

随行者 小川 広志 (担当書記)

茨城県小美玉市

< 市政概要 >

- 1) 面積 144.74 km²
- 2) 人口 50,919 人 (平成 31 年 3 月 31 日現在)
- 3) 市制施行 平成 18 年 3 月 27 日、小川町、美野里町、玉里村が合併して発足。
- 4) 概況 東京から北東へ約 80km に位置し茨城県のほぼ中央にある。
市の西部を JR 常磐線が南北に通過しており、広域幹線道路として常磐自動車道、国道 6 号線、国道 355 号線その他、市に隣接した北側には北関東自動車道が東西に通っている。
また、南部は霞ヶ浦に接しており、基幹産業の農業は平坦な地形を活かしニラ、レンコン、イチゴ生産の他、酪農が盛んで生乳の生産量は県内 1 位である。

< 百里基地概況 >

- 1) 面積 約 425 万 km²
- 2) 滑走路 約 2700m
- 3) 隊員数 約 1800 名
- 4) 航空機
戦闘機 : F-4EJ 改
偵察機 : RF-4E/RF-4EJ
中等練習機 : T-4
救難捜索機 : U-125A
救難救助機 : UH-60J



出典：百里基地HPより

- 5) 概況 昭和 41 年 7 月百里基地として発足、翌年昭和 42 年第 7 航空師団司令部が、昭和 50 年に偵察航空隊がいずれも入間基地から移駐した。関東で唯一の戦闘航空団が所在し、首都圏防空の任に当たっている。また、航空自衛隊唯一の偵察航空隊が所在し、国籍不明機や不測の事態に素早く対応するため、昼夜の区別なく緊急発進体制を維持している。災害時の備えとして航空救難、災害派遣の訓練と待機を実施している。
また、平成 22 年 3 月に茨城空港が開港し飛行場の民間共用化がなされ北関東の空の玄関口となっている。

<調査概要>

今回の調査は、狭山市と同様に航空自衛隊の基地を抱える自治体における、基地とのかかりについて、基地騒音対策や交付金及び補助金、関係機関への陳情活動、基地との交流活動などについて視察調査を行ったものである。

<調査内容>

【説明員】 小美玉市議会副議長 藤井 敏生 氏
小美玉市基地対策課長 大原 光浩 氏

1. 騒音測定及び対策

1) 騒音測定

百里基地周辺の騒音測定区域に 11 箇所騒音自動測定器を設置し騒音を測定している。

平成 30 年度の騒音状況

	北側騒音測定器	南側騒音測定器
日平均騒音発生回数	48回	29回
平均騒音値	83.8W	81.4W

2) 騒音対策

小美玉市独自の施策として基地周辺地区へ、テレビ電波障害対策、電話難聴対策、地域運営費補助の実施を行っている。

- ・テレビ電波障害対策

防衛省が実施している NHK 受信料の減免世帯を対象に、1 世帯 7,500 円の補助

- ・電話難聴対策事業

80W以上の区域 1 世帯当たり一律 20,000 円

75Wの区域 1 世帯当たり一律 10,000 円

- ・地域運営費補助事業

テレビ、電話補助金を差し引いた額を、均等割り及び点数割にて算出し配分

平成 30 年度実績（市一般財源）

項目	件数	金額（円）
テレビ電波障害対策	1,438 件	10,747,500
電話機難聴対策	1,835 件	33,920,000
地域運営補助事業		10,732,500
合計		55,400,000

2. 交付金及び補助金

1) 国有提供施設等所在市町村助成交付金（基地交付金）

平成 30 年度 230,785,000円

2) 特定防衛施設周辺整備調整交付金

平成 30 年度 347,285,000円

平成 30 年度事業実績

事業名	交付決定額（円）
道路事業（改良工事、用地買収等）	150,900,000
消防関係事業（耐震性貯水槽）	12,320,000
その他（文化センター耐震設計、防犯カメラ等）	48,061,000
基金事業	136,004,000

3) 再編関連訓練移転等交付金

平成 30 年度 200,983,000円

平成 30 年度事業実績

事業名	交付決定額（円）
道路事業（測量・設計・用地買収等）	68,800,000
消防関係事業（貯水槽等）	18,760,000
防犯灯整備事業	15,000,000
小学校外構事業	80,000,000
基金事業	18,423,000

4) 平成 30 年度その他の補助金事業実績

① 民生安定施設整備助成事業（一般助成） 313,962,000円

事業名	補助額（円）
無線放送施設設置助成事業（子局）	69,465,000
消防施設助成事業（高規格救急車）	15,676,000
水道設置助成事業	163,040,000
学習等供用施設	65,781,000

② 防音事業 173,272,000円

事業名	補助額（円）
小美玉市立（仮称）玉里小中一貫校防音補助事業（設計）	7,753,000
小美玉市立小川南小学校防音補助事業（工事）	165,519,000

3. 関係機関への陳情等について

1) 執行部との合同での陳情活動

小美玉市に所在する航空自衛隊百里基地は、住民生活に有形無形の多大な影響を与えているとして、基地周辺の生活環境の整備や民生安定のための助成などについて陳情を行っている。

- ① 百里飛行場の民間共用化に伴う地域振興策等について
- ② 基地周辺障害防止対策について
- ③ 防音事業関連維持事業について
- ④ 住宅防音工事の助成について
- ⑤ 移転の補償等について
- ⑥ 障害防止対策事業及び民生安定施設整備事業について
- ⑦ 特定防衛施設周辺整備調整交付金について
- ⑧ 農耕阻害損失補償について
- ⑨ 再編関連訓練移転等交付金について
- ⑩ 関連機関への申し入れについて
- ⑪ 訓練移転に係る安全対策等について

2) 在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係自治体連絡協議会要望書について

在日米軍の再編では、日米安全保障体制のもと抑止力の維持と沖縄等の負担軽減を図るものとして、平成19年から、千歳、三沢、小松、百里、築城、及び新田原の6基地において訓練移転が実施されている、安全と騒音に十分な対策を講じられたいとして、防衛施設と周辺地域との調和を図るための要望を行っている。

- ① 訓練移転について
- ② 住宅防音工事の助成について
- ③ 再編関連訓練移転等交付金について



行政視察会場案内



小美玉市の所管課から説明を受ける

4. 基地との交流活動について

百里基地周辺市町協力会（11市町）

- ・意見交換会及び防衛懇話会が実施されている。
- ・観桜会、音楽祭、及び基地航空祭等の基地行事に対する支援を行っている。

主な基地行事

行 事 名	開 催 日
百里基地 観桜会	平成31年4月6日
CH-47体験搭乗	令和元年5月19日
第21回百里基地音楽祭	令和元年8月3日
令和元年度百里基地航空祭	令和元年12月1日予定
令和元年度基地もちつき	令和元年12月18日予定
令和2年新春賀詞交歓会	令和2年1月10日予定

<主な質疑応答>

Q 騒音対策の補助について、防衛省補助のNHK受信料減免に加算して7,500円が支払われるのか。また、その財源は。

A 防音工事が済んでいない場合は、防衛省の補助に加算して支払われる。市の一般財源である

Q 基地対策特別委員会を狭山市では8名で構成しているが、小美玉市はどうか。

A 小美玉市も基地対策に係る特別委員会を設置しており10名で構成している。

Q 住宅防音工事の助成について、告知後建てられた住宅を適用するよう要望しても良い答えが返ってこないが、住民への説明はどうしているか。

A 告知後の住宅を適用することの要望や工事後も騒音が改善されないなどの苦情はある。住民に対する説明は陳情書を市報へ載せて、その活動を周知している。

Q 要望の中にあるが、12時から13時の間も頻繁に飛行するのか。

A 農家の方がゆっくり休みたい昼休みの時間でも飛ぶことがあるため、飛行の自粛を要望してきた。その結果、8月以外のスクランブル飛行は自粛してもらっている。

Q 特に多い苦情相談の内容は。

A 空対地射爆訓練時の騒音やエンジン調整時の低音の騒音については苦情が多い。また、航空祭の時に一般来客の車両による苦情が多くあったため、平成30年度からパークアンドライドを実施したところ一定の効果があつた。

Q 民間空港と一緒にいるがトラブルはあるか。

A 民間の飛行時間と演習時間とがずれているためトラブルはなく、現在、朝夕の2便、スカイマークが運航している。

Q 市民への基地に対する理解の呼びかけや自衛隊を身近に感じてもらうための児童生徒に対する基地との共生についての教育の取り組みは。

A ふるさとふれあい祭や産業祭で基地の広報ブースを設け、小さな子供にパイロット服を着せるなどの取り組みが実施されている。

Q 市が基地へ観光資源としての申し入れは。

A まちづくり構想を進める中で、基地周辺、茨城空港周辺の観光資源としての活用を検討している。現在の周辺財産の多くは緑地帯であり、市でも資材置き場や空港の臨時駐車場として活用しているが、民間への有料貸付も可能となったと聞いている。なお、空港に隣接した40町歩の県の工業団地も売れ残っており、その対応が課題となっている。

Q 茨城空港の収支はどうか。

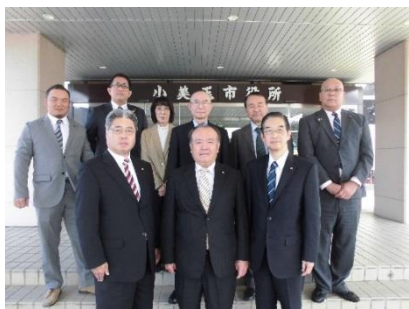
A 茨城空港には無料の1300台の駐車場があるが、常に満杯の状況。収支は県が把握しているので分からないが黒字であると思われる。また、ここで中国の青島への新しい便もできた。

Q 農耕阻害損失補償とはどういうものか。

A 滑走路の延長上にある農作業への補償であり、飛行回数、滑走路までの距離、作業日数、耕作面積により補償額を決めている。

Q 市内の小中学校のうち何校で防音工事が行われたのか。

A 現在、学校の統廃合が進んでいる中、統合校について防音工事を実施している。なお、防音区域外は補助の対象となっていない。



小美玉市役所玄関前にて



小美玉市本会議場にて

以上が視察の概要であり、報告いたします。